

第12回「いのち」勉強会のご案内



「これからの教会の歩みに 種をまき、語り継ぐことの大切さ」

-79年前-

～あの日、あの時、戦争で何が起きたのか

その悲劇をカトリックの観点から見つめてみよう～

日時 **2024年11月17日(日)14:00～**

会場 **元寺小路教会 1階ホール**

講師 **池田 まり氏**(カトリック元寺小路教会信者)

カトリック正義と平和仙台協議会では「いのち」に関わる様々な分野の方からお話を聞く勉強会を開催しています。「いのち」の大切さを学び考える時間にとの思いからシリーズ化いたしました。今から79年前、太平洋戦争の最中1945年7月10日午前0時過ぎから約2時間 12,961 発 9,113 トンの爆弾が投下されました。私たちの暮らす仙台は大空襲に見まわれ焼け野原と化したのです。そこで生きる多くの人々の命が奪われました。軍国主義を突き進む日本で当然カトリックの立場も苦境に立たされました。「キリストと天皇とではどちらが偉いか」などの質問や「アーメン」の言葉の禁止、スパイ扱い、宣教師の抑留などさまざまな弾圧が起きました。当時の状況などを私たちが知って若い世代に語り継いでいくことが大切だと考え今回の勉強会を企画しました。



池田まりさんのお話を聞いて分かち合いたいと思います。ぜひ、ご参加下さい。

★申し込み不要・参加費無料（当日はカンパのご協力をお願いします）

主催 カトリック正義と平和仙台協議会

後援 カトリック仙台司教区

会場 カトリック元寺小路教会仙台市青葉区本町2-2-12

問い合わせ 090-2022-4007 (木元)

E-Mail: sendai_seihei@yahoo.ne.jp

